

深田地質研究所年報 第1号 正誤表

ページ	段	行	誤	訂正
前書き			http://	http://
8	左	1	挿入	は2000年3月に完成し工技院地
11	右	図説明	比較(滝沢)	比較. 滝沢
14	左	13	花閉岩	花崗岩
	右	18	↑	削除
15	右	22	図2	図3
18	左	32	¥	削除
19	左	32	そお	その
25	左	24	-1 僅かに	-1 (僅かに
31	左	13	勾配が2°	勾配が12°
45	右	12	㊸深田地質	深田地質
46	左	24	㊸深田地質	深田地質
	右	7	の計画が	削除
57	左	8	どう	どう
60	左	13	10cm <sup>3</sup>	10cm <sup>3</sup>
69		図説明	残留磁化	残留磁化
73	所属		Instsitute	Institute
	要旨	1	におい t	において
75	右	3	そのご	その後
81	右	17	点、で越流	点で、越流
82	右	7	これらのこれら赤褐色	これらの赤褐色
83	右	4	§	④
	右	17	㊸	(株)
	右	22	§	④
84	右	1	崖!	崖
85	右	3	地点①	地点④
86	右	21	HCO <sub>3</sub>	HCO <sub>3</sub>
87	左	8	風化が	風化で
89	左	1	第1行(面.....困)	削除
91	右	2	アジア航測㊸	アジア航測(株)
97	左	欄外	No.22	No.21
	右	5	写真新判読	写真判読
101	左	17	流	流れ
102		図説明	8時4フ分頃	8時4分頃
104	右	31	105m <sup>3</sup>	10°cm <sup>3</sup>
105	左	表一2	m <sup>3</sup> 、m <sup>2</sup> 、m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup> 、m <sup>2</sup> 、m <sup>2</sup>
	左	6	朗	郎
106	左	3	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>
107	右	12	千葉ら	遠藤ら(1998)
108	右	14	委員会報告で	委員会報告」で
		17	委員方々	委員の方々
		20	大八木則夫	大八木規夫
109	左	12	No.353田中耕平	田中耕平以下改行
		19	社)地盤工学会	(社)地盤工学会
	右	7	Develop-ments	Developments
112	左	欄外	No.21	No.22
113	左	22	山本	山元
		24	大竹、1997、2000	大竹ほか、1997; 大竹、2000
114	左	5	カルデラノ	カルデラ
		図説明	山本	山元
115	左	2	中・小規模	中・小規模
116		図説明	碓ヶ関後火体	碓ヶ関後カルデラ火山体
	左	1	第1行(成.....堆)	削除
120	右	1	上位また指交	上位にまたは指交
121		図説明	(1989)原図の	(1989)の原図に
123	左	30	大竹、1997	大竹ほか、1997
	右	17	大竹、1997、2000	大竹ほか、1997; 大竹、2000
		24	大竹、1997、2000	大竹ほか、1997; 大竹、2000
127	左	32	Libtary	Library
巻末		付図-1		堀・中島の論文の付図(本来111ページの次)
vii		18	挿入	特(2) 火山とその産物 荒牧重雄
xii	表題	2	設立認可	設立許可